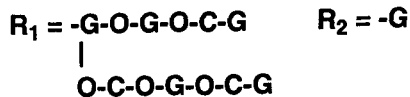
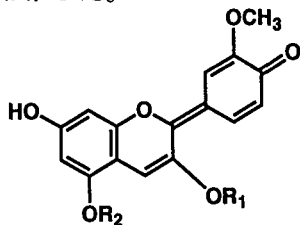


天然色素アントシアニンの光耐性に関する研究

梶山女大・生活 ○吉田久美、亀田清

目的 天然色素アントシアニンは、安全な食用着色料のみならず、最近では様々な生体調節機能の点からも注目されている。今回、中性希薄溶液中でも安定で食用用途が広く期待されるアシル化アントシアニンに着目し、その光耐性について調べた。紫外線防御機能の面からアントシアニンが有用であることを明らかにしたので報告する。

方法及び結果 空色西洋アサガオ (*Ipomoea tricolor*) 花卉より各種クロマトグラフィーを用いてトリアシル化アントシアニンのヘブンリーブルーアントシアニン (HBA) を単離した。HBA を様々な濃度で、緩衝液に溶解し、高圧水銀灯を用いてUV-B領域の光を照射した。HBA は、紫外光照射下では非照射下とは逆に、酸性溶液よりも中性水溶液中の方が安定であることがわかった。



G= β -D-glucoside **C**=caffeoyl